

30529

教科書文庫

3
810
31-1886
20003
02808

Kodak Gray Scale

A 1 2 3 4 5 6 M 8 9 10 11 12 13 14 15 B 17 18 19

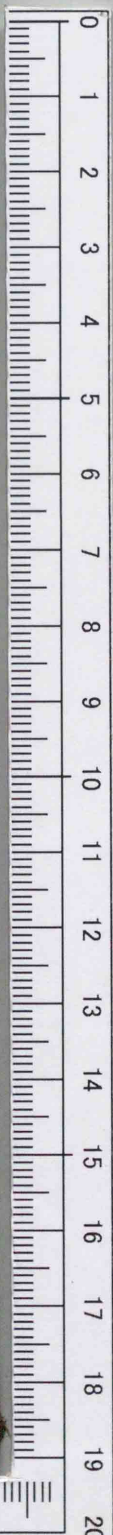
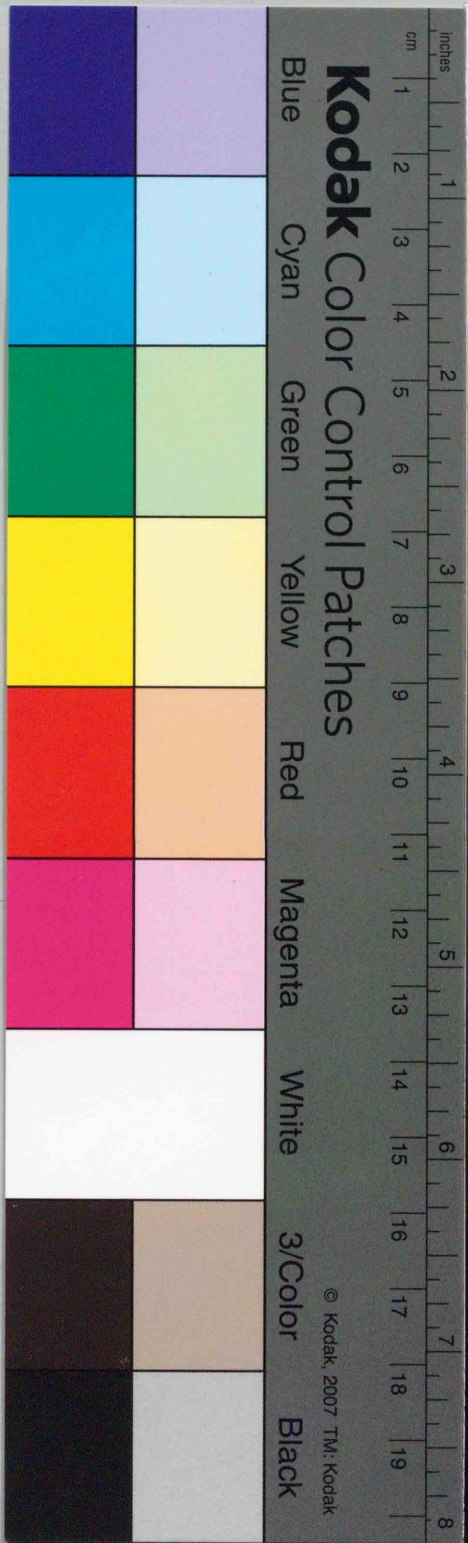


© Kodak, 2007 TM: Kodak

Kodak Color Control Patches

Blue Cyan Green Yellow Red Magenta White 3/Color Black

© Kodak, 2007 TM: Kodak



3759
Uc8
資料室

實用讀本
尋常科
卷一



資料室
中央図書館

廣島
大學
圖書
印



凡例

一 是書全部六卷。兒童實用讀本入門ヲ讀ミ了リタル者ノ爲メニ設ク。即チ一卷ヲ以テ半年ノ課程ニ充ツ。文體ハ務メテ平淡ヲ旨トシ。一讀ノ下ニ義理明瞭ナラシメシテ期セリ。凡ソ今時ノ文。目以テ之ヲ讀メバ。稍ク解ス可ク。耳以テ之ヲ聽ケバ。多クハ曉リ難シ。是其文艱澀ニシテ。多ク不熟ノ漢語ヲ用フルニ由ルナリ。是書務メテ此弊ヲ去ル。亦實用ヲ尚ブナリ。又此書專ラ幼童ヲシテ。漢字ヲ習ラハシメ。作文

實用讀本

凡例

三書子

一ヲ習フノ助ト爲サシムルニ在リ。故ニ先ツ粗
 畫ノ文字ヲ以テ。短文ヲ綴リ。漸ク密畫ノ長文
 ニ入ル。其録スル所ノ事モ亦易ヨリ難ニ及ビ。
 務メテ躐等ノ弊ナカラシム。
 一第一卷ト第二卷トニハ。課頭ニ必ず新出ノ文
 字ヲ掲グ。異音異訓アルモ。同字ハ再ビ出ダサ
 ス。授業ノ際教師之ヲ説明シテ可ナリ。例ヘバ
 東ノ字(ヒガシ)ト讀ミ。(トウ)ト讀ムノ類是ナリ。
 又練習ノ課ニ。畫ヲ以テ文字ニ代ヘ。或ハ白圈
 ヲ作りテ填字セシムルハ。兒童ノ作文ノ力ヲ

養ハンガ爲メナリ。自餘ノ卷ニハ練習ノ課ヲ
 立テザレドモ。教師自ラ練習ノ文ヲ作り時々
 之ヲ授ケテ可ナリ。

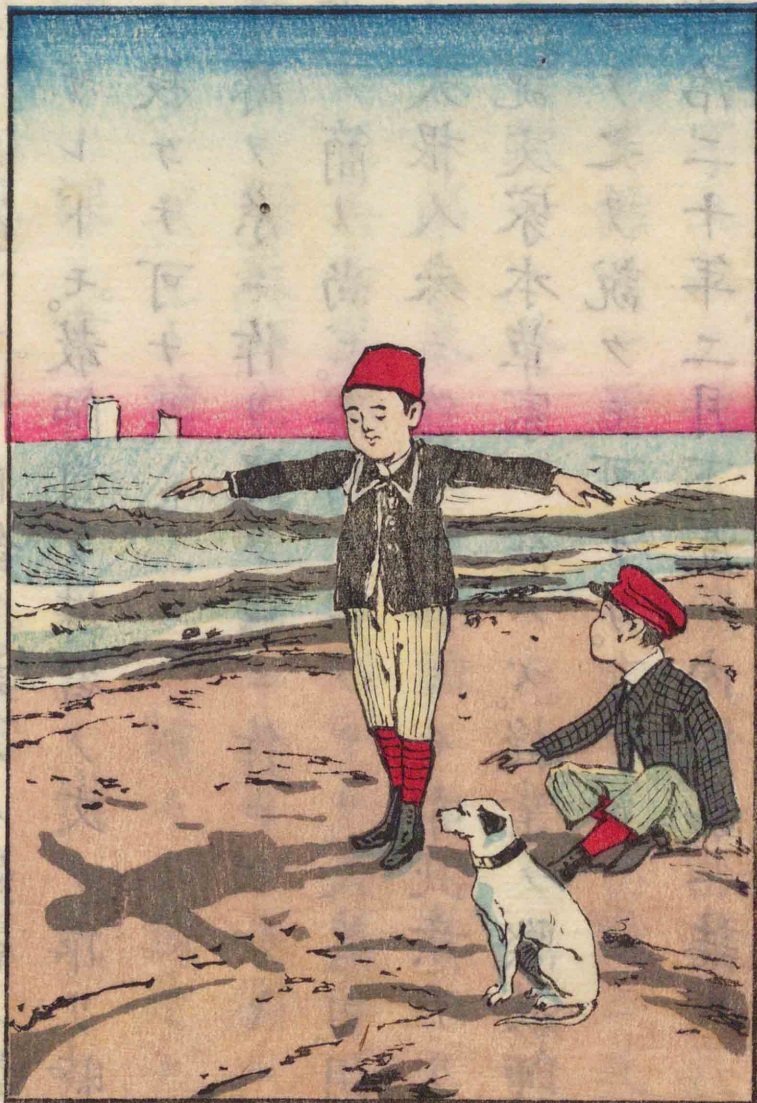
一書中。絲ヲ糸ニ作り。蟲ヲ虫ニ作ルガ如キハ。皆
 筆畫ノ簡ヲ尚ビ。俗用ニ從フナリ。又蘿蔔。胡蘿
 蔔ヲ。大根人參ニ作ルカ如キモ。亦此意ナリ。必
 シモ說文家本草家ニ從ハズ。授業ノ際教師斟
 酌シテ之ヲ說クモ可ナリ。

明治二十年二月下浣 内田嘉一誌ス

第一課

東。西。南。北。

日は東よりいづて西にゐる。東にむかへば。左は北にて。右は





第二課

風。凧。字。嵐。

南なり。このいつは。南にむかひり。うゝるの方は。西なりや北なりや。



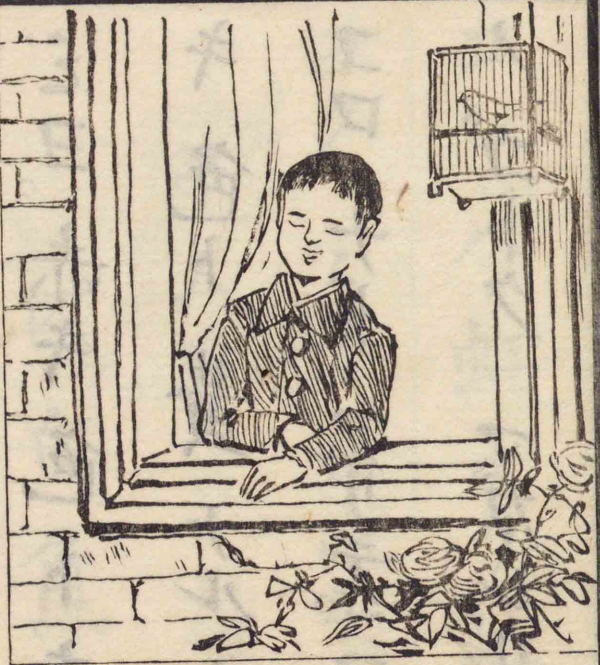
ケフハ
風アリ。
凧ヲアグルニ
ヨロシ。コノ風ハ南
風ナリ。凧ハ北ノ方
ニアガルベシ。凧ニ

カキタルハ。ナントイフ字ゾ。嵐ナリ。嵐トハ。山風トカクナリ。

第三課

目。耳。色。音。

この子は。目みだされども。耳はよくきこゆ。目みだされば。



第四課

赤。青。黄。虹。

ものの色を志らず。耳きこゆれば。ものの音をはかりたり。

東ノ方ニ。ウツクシ
 キモノイデタリ。
 ミヨ。赤キ色ト。青
 キ色ト。黄ナルト
 コロナドアリテ。弓
 ノゴトクマガレリ。



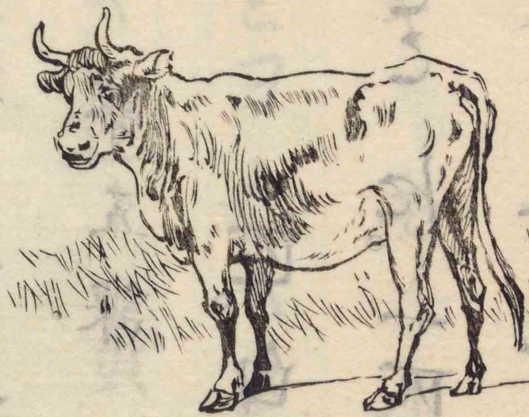
コレハ虹ナリ。虹ノ色ハセツアリ。
 ヨクミテオボエオクベシ。

第五課

匹。白。角。牙。毛。
 ここに。一匹の牛あり。毛の色。
 白と黄色とまどり。角はまへ

實用語彙 卷一

三書房藏



にまがれり。牛は
角あれども牙なし。
牛は力ありや。牛
は力のつよきもの
なり。

第六課

友。互。心。父。母。

ココニ五人ノ友
ダチアリ。互ニ心
アヒテ。ナカヨク
アソベリ。友ダチ
ト。ナカヨキ子ドモ

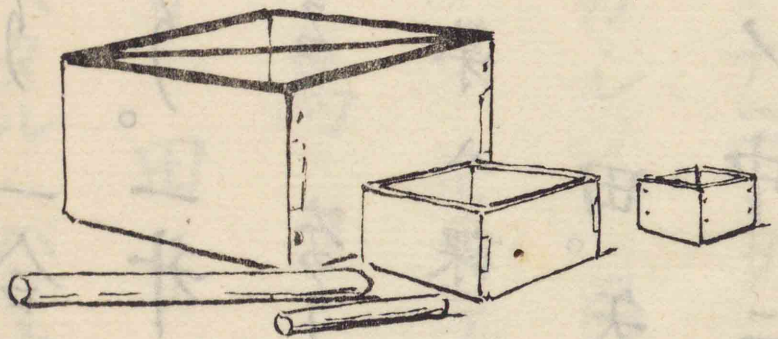


ハ。父母ノイヒツケニモ。ソムカヌ
 モノハナリ。ナンヂラ。友ダチト
 ナカヨクスルカ。

第七課

合。斗。中。升。米。

ここに。大。中。小。三色のますあり。



小なるは一合ます
 あり。大なるは一斗
 ますあり。中なる
 は一升ますなり。
 ますは。水るカ米
 などをはかるうつは

なり。一合 十はいにて一升と
なり。一升 十はいにて一斗と
なる あり。

第八課

田。矢。鳥。鳥。苗。

田ノ中ニカガシアリ。カガシ

ハナニヲモテル。

カガシハ弓ト矢

トヲモチテ。小鳥

ヤ鳥ヲオドス

ナリ。田ノ中ニ

ハヘタルハ。ナニナ



ルカハハサダメテ イ子ノ苗ナル
ベレ。田々中ニ

第九課

猫。名。玉。爪。又。

この猫は子猫なり。毛色 白ま
ゆゑ。名を白とつけたり。又玉とも



第十課

兔。足。穴。冬。何。

いふ。白や白。玉や玉。
爪をどぎてなにに
するか。アア又かけ
て木の上のぼる。

コレハ兎ナリ。兎ハ山ニス。

冬ハ穴ノ中ニ

ヲルモノナリ。

兎ハマヘ足

ジカク。アト足

ナガシ。兎。兎。



何ヲミテハヌル。月ヲミテ

ハヌル。

第十一課

今。氷。池。火。手。

今は冬あり。くさ木はかれはて
て。池は氷を はりつめたり。



子どもはよるこび。
氷をくだきてあつべり。
一人の子どもをみよ。
手つめたきゆるゑ。口
に手をあて。いきを
ふまかけたり。さだめ

て火のはた。こびーかるべー。

第十二課

年。元。松。竹。丸。羽。

年ノハジメヲ元日トイフ。イヘ
イヘ松竹ヲカザリ。二日ノ丸
ノハタヲカカゲテイハヘリ。



コノ日ハ。子ドモ
 ラガ。マチニマチ
 タル。ウレシキ日
 ナレバ。羽ヲツキ
 凧ヲアゲ。色々ノ
 アソビニテ。サム

サヲモワスレ。日ノクル、ヲモ。

シラスモノナリ。

第十三課

女。兄。弟。外。内。居。

ここに。二人の女子あり。一人

の名はね松にて。一人の名は

れ竹あり。けふは雨ふりて。外
つでられぬゆゑ。
内に居て本を
よめり。お松と
お竹は兄弟なり。
づれもおとなし

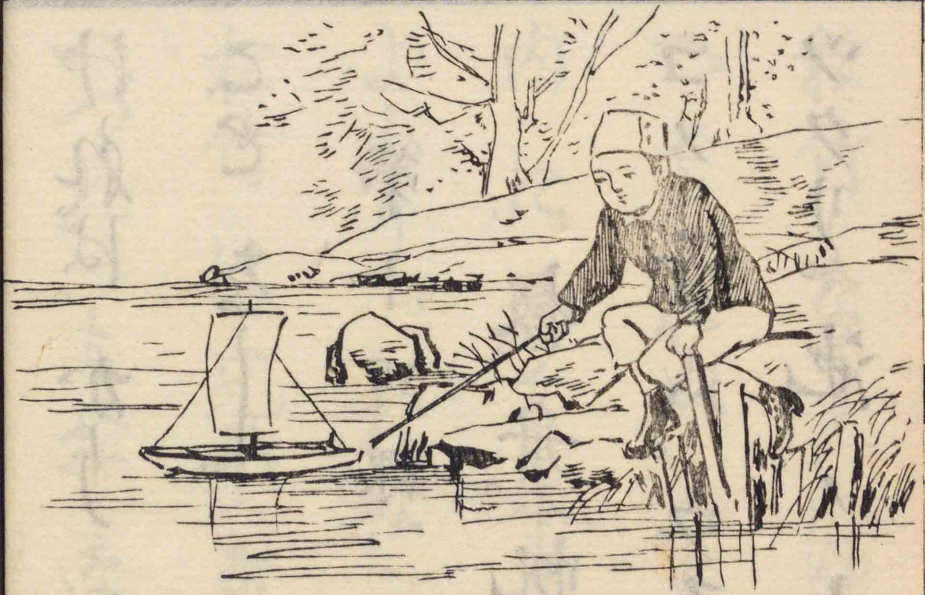


ければ。かりにもけんゝあせ
ことなり。

第十四課

板。舟。帆。柱。糸。紙。

コノ子ハ。ウスキ板ニテ舟ヲ
ツクリ。池ノ中ニオロセリ。此



サマハシレリ。

第十五課

寸。分。尺。知。長。曲。

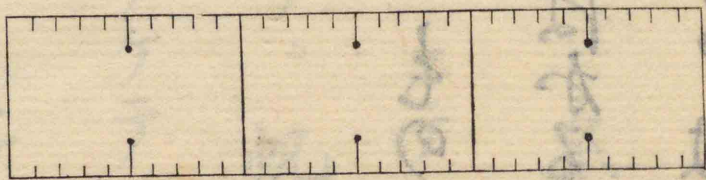
汝ら。ものさしを知るか。もの

さしは。もの長さをはかる

ものなり。ここに急がけるは。

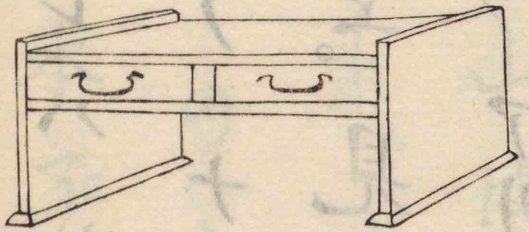
舟ハ。竹ニテ 帆
柱ヲツクリ。系
ヲハリ。紙ニテ
帆ヲカケタリ。帆
ハ風ヲウケテ
ハラミ。舟ハスグ

曲尺三寸なり。寸のかず
十あるを一尺といひ。
二十あるを二尺といふ。
寸の中に又こわけ十
あり。こわけの一ツを一分
といふなり。



第十六課


机。桐。見。画。引。出。




机ハ。本ヲヨミ字ヲ
ナラフダイナリ。コノ
机ハ。何ノ木ニテツ
クリレモノトオモヘル。

コレハ桐ノ板ニテツクリタル
モノナレドモ画ニカキタル
ユエ見ワケガタシ見ヨ引出
ニツアリ中ニハ手本ト紙
ナドアルベシ

第十七課 (練習)

○は東よりいづ。
風はたかく○○れり。
此山は石多くして  すく
なり。
机の上に○あり。本は何
の本ぞ。

ここに一匹の  あり。毛の

色  。

人は  。

見る。  。

米は  。

まいにち  。

此  。

のぼる。  。

第十八課 (練習)

○ハクロキ鳥ニテ。ナクコエ

カアカアトキコユ。  。

此  。

白キユエナリ。白ナリ。ま
 ○ハ山ニス。月ヲ見レバ
 ハヌルモノナリ。
 ココニ。松トアリ。イ
 ツレモ青青トレテ。ウツクレキ
 サマナリ。

第十九課

春。草。芽。花。野。尤。

今は春なり。

草木は芽を

いだし。野山

は皆青青と

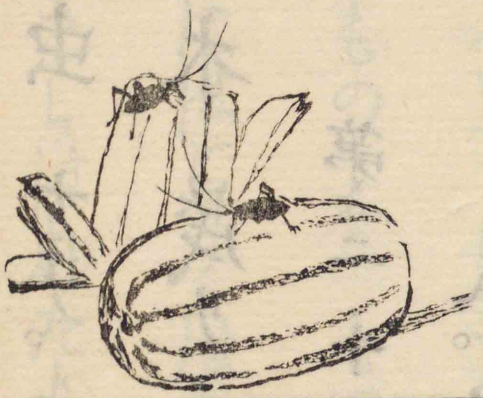


い。色色の花さきたり。汝ら
春さく花の尤も早きは。何の
木ぞ。うめか さくら かもも
なりや。

第二十課

虫。鈴瓜。出。夏。次。氣。

コレハ何ノ虫ナルカ。コレ
ハ鈴虫ナリ。鈴虫ハ瓜ヲコノム



ヤ。鈴虫ハ瓜ヲコ
ノメリ。松虫モ瓜ヲ
コノメリ。コレハイツノ
コロニ出ル。夏ニイツル

虫ナリ。夏ハ春ノ次ニテ。草
木茂リテ。天氣アツシ。

第二十一課

狐。似。常。住。古。宮。寺。

狐は犬に似たれども。毛の色
黄にして尾は太し。常に山に

住み。又古き宮寺
に住む。冬になれば。
人里にいでて。くひ
ものをもとむ。見よ
にはとりは。今狐に
さらはれたり。



第二十二課

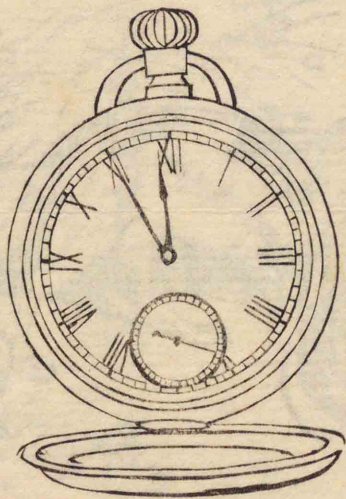
爰。金。時計。正午。

爰ニ金ノ時計アリ。

今ハ何時ナルカ。

十二時五分マヘナリ。

サレバ今五分スグ



レバ 正午ナリ。正午トハヒル

ノ十二時ナリ。

第二十三課

如何。雪。來。多。作。

けふは如何なる天氣ぞや。うれ

しくも雪ふり來れり。雪や

雪や。多くつもれ。
山ほどつもれ。あす
は雪なげ 雪ころ
がー。雪人形を
作るべー。ふれや
ふれふれ雪や雪。



第二十四課

杉。伐。林。森。斧。材。

松杉ソノ外色色ノ木多ク
アル所ヲ林トモ森トモイフ。
ココニエガケルハ杉ノ森
ナリ。大ナル斧ヲ持テルハ

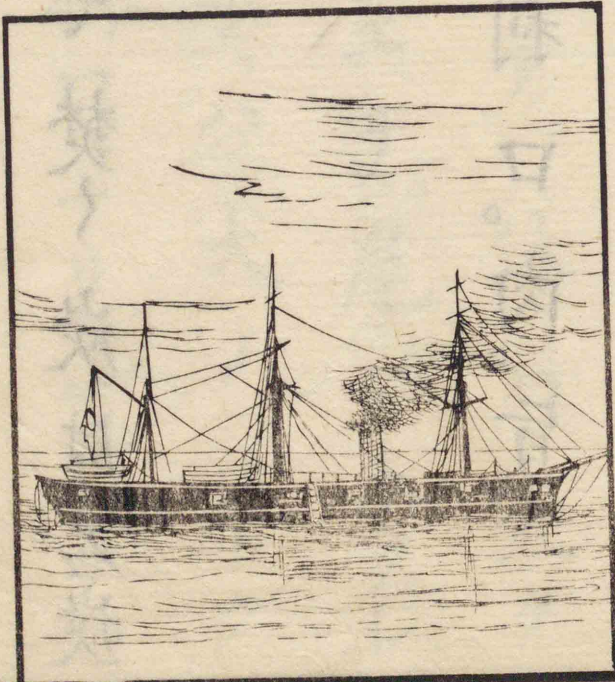


第二十五課

キコリ ナリ。キコリ
ハ木ヲ伐リテ
材木トシ。又引キ
ワリテ 板トモ
スルナリ。

烟。蒸氣船。焚。石炭。

アア 大なる舟
あり。これは何
といふ名なる
か。これは日本丸
なり。此船は志
ようきせんなり

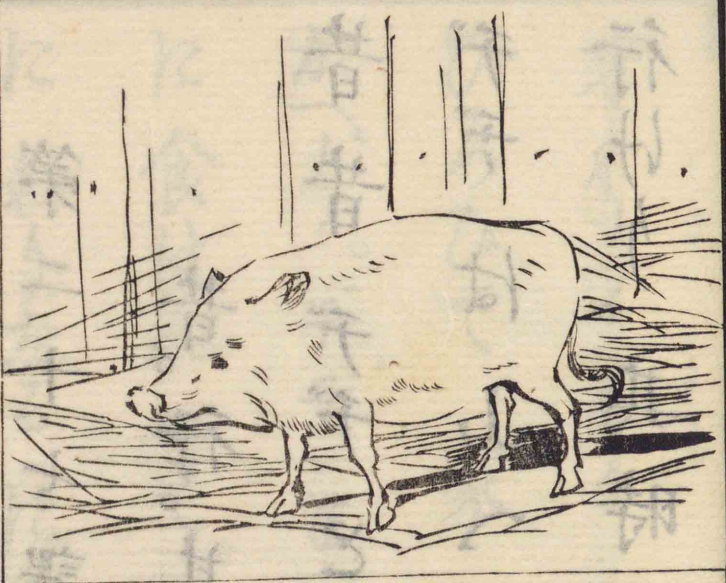


や。烟多く出れば。蒸氣船なる
べし。蒸氣船にて焚く炭は石炭
なり。

第二十六課

豚。家。体。利口。肉。旨。

爰ニアルハ豚ノ画ナリ。豚ハ



家ニカフモノニ

シテ。体ハ太ク

コエテ。尾ハホソシ

豚ハ犬ノゴトク

利口ナリヤ。豚ハ

犬ノゴトク
利口ナラズ。豚ノ

肉ハ旨シクヤ。除口。タスス。タス。

第二十七課 除口。タス。タス。

昔。行。其。桃。食。大。く。こ。い。く。

昔昔。ヂヂと。ババと。ありたり。

ヂヂは山へ行き。ババは川へ

行けり。其時大なる桃一ツながれ

來れり。ババは

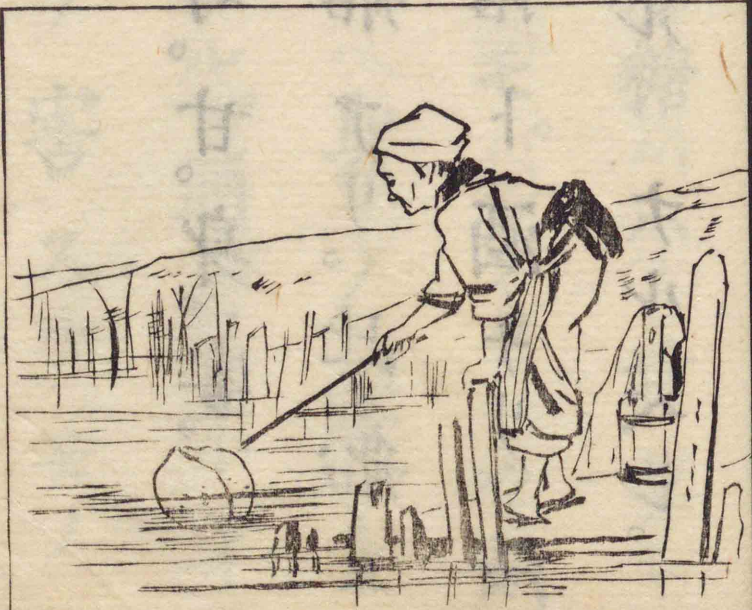
ひろひて 家に

かへり。ヂヂと共

に食はんとして。ニッ

にありたるに。中

より一人の赤子出でたり。汝等。



赤子の名を知るか。

第二十八課

砂糖。酒。好。甘。身。害。

川上ニノボル共船アリ。此船ニ

ツミタルハ。砂糖ト酒ナリ。汝

等。砂糖ヲ好メルナルベシ。



砂糖ハ甘ケレ

ドモ。多ククヘ

バ身ノ害ト

ナル。酒モ亦身

ヲ害スルモノ

ナレバ。ノマザル

ヲヨレトス。

第二十九課

車。自。輪。果。由。軸。

此子のもてあるぶ車は。自ら作りたるなり。輪はまげものふたなり。だいは小き果子

のはこなり。輪の軸は竹の串にて。だいの中には竹のくだあり。軸は此くだをとほりたる。ゆる車は



自由にまはるなり。

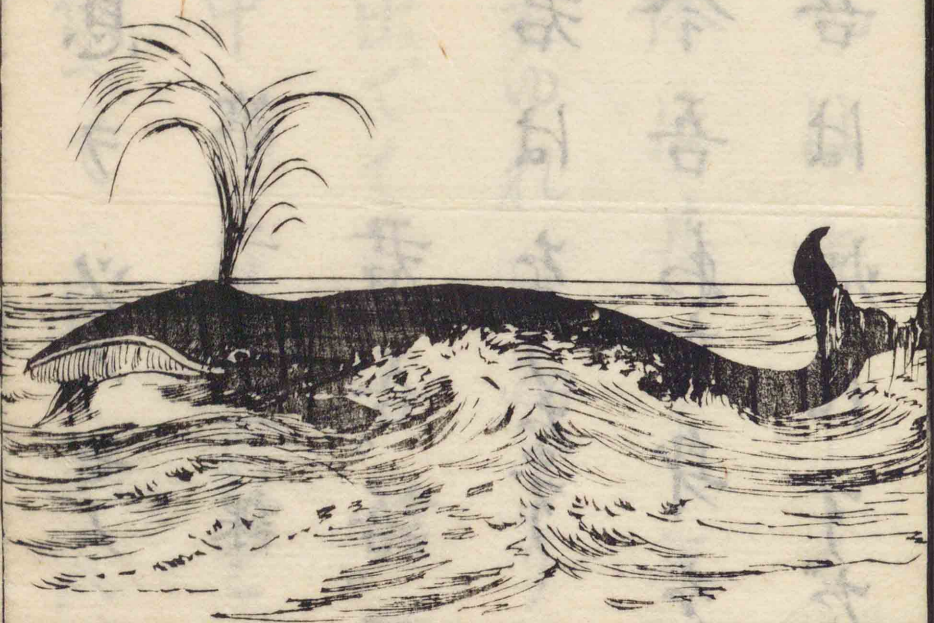
第三十課

魚。鯨。海。非。沙。折。息。

見ヨ。大ナル魚ニハアラヌカ。

コレ鯨ハ魚ナリ。鯨ハ魚ニ似

タレドモ魚ニ非ズ。海ノ中ニ



住メルケモノ

ナリ。鯨ハ永ク

水ノ中ニ居ル

コトアタハズ。

折折水ノ上ニ

イデテ。沙ヲフキ

息ヲツクモノナリ。

第三十一課

君。吾。語。頭。者。甚。老。

君はなごなごをときえんや。
今吾わが身をなごにて語らん。
吾は畑にうだつ者なり。頭の

毛は青くして。

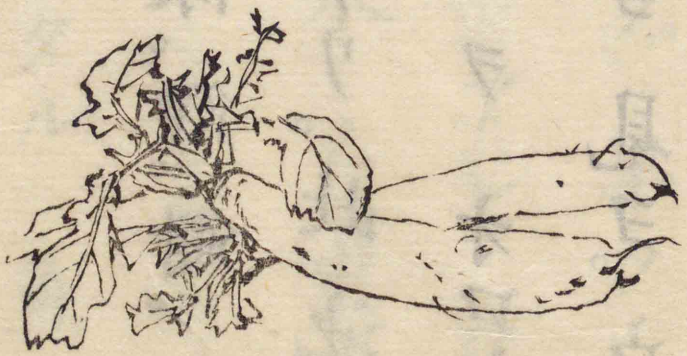
体は甚白し。年

老ゆれば畑より

出でて。たるの

中に住み。名を

代つて。たくあんといふ。これにて



何ととくか。

第三十二課

釣。竿。直。付。深。鯉。鮒。

爰ニ釣スル子供アリ。此池ハ
魚多ク住メリ。竿ヲオロセバ
魚ハ直ニ付ク。見ヨ見ヨ。ウケ



ウゴク。早クア
ゲヨ。アレウケ
ハ水ノ中ニ
深クムグレリ。
付キタル魚ハ
必鯉ナラン。鮒

ニハアラザルベシ。

第三十三課

(練習)

春はあたたかにして。色色の

○ さくものなり。

鈴 ○ は夏 出づる虫にて。音色

すずしく きこゆるものなり。

○ はにはとりをとる。狐は

犬をねらる。

この子は ○ 計をもちり 今

なん時 なるか。

この ○ は蒸氣船なり。蒸氣船

ははいること早い。

うまはあゆむことはやけれど。
○はあゆむことわろし。

實用讀本卷一終

明治十九年十月二十二日版權免許
同 二十年七月三十日 訂正再板御届

編輯人

千葉縣平民

内田嘉一

本郷區駒込西片町十番地

東京府平民

岡村増太郎

淺草區聖天横町二十五番地

東京府平民

牧野善兵衛

日本橋區通四丁目七番地

埼玉縣平民

長島爲一郎

北足立郡鴻巣宿百廿五番地

東京府平民

吉川半七

京橋區南傳馬町丁目十二番地



出版人

同

同

